

# わんぱく学園ニュース

平成20年 3～4月号 No135

春にさきがけ目にうつる、鮮黄色でおしろい花のような筒状の花…  
そう…黄梅の花が咲く頃……。葉の出ないうちに花を開くので迎春花  
とも言う。

「迎春花、一枝(ひとえ)にたくす、童夢(わらべゆめ)」 ～垣

## 「地域で暮らす 子どもたちであること」

島根県教育庁 高校教育課 特別支援教育室

指導主事 中村 厚子

いつのまにか教職について20年になっていました。いちばん最初  
に出会った子どもたちが20代前半になります。子どもたちが一緒に  
SMAPツアーを楽しむ仲間になりました。カラオケを楽しむ仲間  
になりました。酒をのむ仲間になりました。

そんなこの頃、現在の職場に入り、行政という慣れない日々の中、  
協働による島根づくり事業という相手の顔の見える仕事がまいこんで  
きて、「わんぱく学園」の活動に出会いました。

わんぱく学園は、親の会と特殊学級(今年度から、特別支援学級と  
いう名前になりましたが)の先生たちが、障害のある子どもたちの休  
日をもっと豊かに子どもらしいものと願って1988年に創設され、今  
日まで続けてこられたものです。

私自身は、教員になってから、障害のある人もない人も一緒に楽し  
い列車の旅をしようと全国的に取り組まれていた貸切列車での旅「ひ  
まわり号」を島根で始めたときの実行委員会に加わり、障害のある方  
たちの余暇活動にちょっと携わるようになり、学校生活だけではなく、  
それ以外の生活を知ることになり、成人になった方たちの暮らしを垣  
間見るようになりました。

3年前まで12年間、転勤で石見部のほうにいたときは、「さくら  
クラブ」というサークルがあり、余暇活動の企画運営をしていました。  
そのクラブのいいところは、養護学校の卒業生が企画運営に加わって

いたことです。月に1回の活動の前には仕事が終わってから学校に集  
まってきて、スタッフとして一緒に準備をします。当日は、案内を出  
した地域の障害のある子どもたちや青年たちなどが集まってきます。  
月に1回くらいは、家族とではなく、一人ではなく、友達と仲間と過  
ごすといった感覚でした。

近頃、学校では、何とか計画の作成がはやりです。学校生活だけで  
はなく、家での生活や地域での生活を含めてまるごとの中でのあなた  
にどんな方針でもってみんなで支えていったらいいか、みんなで考え  
ましたよというのが、個別の支援計画と呼ばれるものです。

それにより、先生たちも、学校だけで終わらない学校生活を考えて  
いかざるを得なくなることで、力量のある先生だけが、将来を見通し  
た教育ができるのではなく、どの先生に出会っても、そういった教育  
が保障されるようになるのではと思っていますが…、実際はどうかは、  
今の立場では、怖くて聞けません。

学校だけではない自分を作っていくことは、教員にとって、どの大  
人にとっても仕事だけではない自分は大事だと思いますが、教員には  
より期待されている部分であると思います。しかも、教員にとっては、  
二つの地域～自分の住む地域と勤務する学校での地域～での人材とし  
て期待されることが多く、その役割を難なく楽しむ先生もいます。私  
のようにものぐさだと常に葛藤し時間がかかります。でも「ひまわり  
号」「さくらクラブ」を続けてこられたのは、「来年もね」「今度も楽しみ  
だよ」と期待される声です。その気にはなりやすい性格でもあるので。  
ボランティアとはそんなちょっとした気持ちのやり取りの結果なのだ  
ろうと思います。松江に12年ぶりに帰ってくると、日曜日はガイ  
ドヘルパーをお願いしてその子にとっての余暇を楽しんでいるという、  
浜田では、子どもにとってはまだ余りなじみのなかった生活が普通にな  
っていました。(普通は大げさ!? 一部だけかなあ…)

教員ががんばって余暇活動を作り上げなくても、地域の中に企画さ  
れているものも結構ある時代になってきたようにも思います。平田に、  
わんぱく学園があるように。

だから、それを利用しないなんてもったいない。

家庭から地域へ繋ぐための第一歩を歩ませたい平田近辺の子どもた  
ち、その一歩めを支える家族の方々、先生方、わんぱく学園へ生まれ!!

## ～テレビCM 採用～

# みるみるできた ～陶芸教室～ なぞの物体

1月27日(日)私にとっても鰐淵小Gさんにとっても初めての、サンレイクでの陶芸教室でした。

「Gさん何をつくりたい?」「あのね、ガイコツがね…」とGさんがガイコツの話をするや否や、ひろ校長先生の手先が器用に動き出し、あれよれよという間に、立派なガイコツ(頭)ができ上がり、Gさんは「うわあ!ガイコツ、ガイコツ!」と大喜びでした。そうしている間に、みるみるガイコツの肋骨部分ができ上がり、足部分ができ上がり、棺(ひつぎ)に横たわったミイラが完成しました。これで終わり?と思ったら、ひろ校長先生はミイラのまわりに、般若心経のお経を書き始め、おしょうさんまでできました。さすがは校長先生です。Gさんはミイラのそばにひっそりと、粘土のお墓を立てました。

こんな感じで始まった陶芸教室は、ひろ校長先生の独特のジョークで、とっても楽しいひと時でした。

肝心のGさんは、ネコを作ると言って結構いいセン行っていたのですが、あまり気に入らず壊し、また壊しで、結局午前中は形にはならず、カレーライスのお昼食をはさんで、午後の作業となってしまいました。

粘土をギザギザの棒でたたいている内に、ギザギザ模様の棒ができ、「あらGさん、ドラゴンができたじゃない!」と、棒をくねらせていると、ひろ校長先生が「はい、どうぞ。」とかっこいいドラゴンの頭をつくってくれました。Gさんは、「おう!ドラゴンができた!」と、またまた大喜びでした。

陶芸教室の後お迎えを待つ時間にGさんとAさんは、ひろ校長先生が「じゃあ、おっちゃんとかくれんぼ」しようか。」と言われ、3人で「かくれんぼ」をして遊んでもらいました。これもGさんにとっては楽しい思い出となり、次の日「楽しかった〜!」と話していました。

ひろ校長先生、楽しい一日をありがとうございました。

記・わんぱく学園スタッフ 尾原世志子(勤務 鰐淵小)

この度、わんぱく学園の陶芸教室の活動が、『県民と行政との協働』のテレビコマーシャル(CM)に採用されました!。これも皆様の支えあってのことと、深く感謝申し上げます。放映日時は、下記の通りです。是非ご覧ください。お楽しみに!!。

### ■放送概要

民放3局で、各局毎週2回、ゴールデンタイムと朝の時間帯に放送されます。放送期間は3月11日から3月31日までの予定です。

### (放送時間)

山陰中央テレビ	毎週水曜日20:54~	「TSKスーパーニュース」
	毎週土曜日6:30~8:30	「めざましどようび」
山陰放送	毎週日曜日20:54~	「BSSフラッシュニュース」
	毎週水曜日7:00~8:30	「みのもんたの朝ズバッ!2部」
日本海テレビ	毎週金曜日20:54~	「NKTニューススポット」
	毎週火曜日6:30~8:00	「ズームイン!!SUPER(2部)」



## 🌸🌸 黄梅に学んだ...

葉が出ないうちに花を咲かす...それは花は、枝が伸び、葉が出て、結果として花に結実すると言った花木が多いように感じます。それは、夢の実現、本来には生命の目指すところ。

この花は、夢をまず咲かす...それは到達すべき目的を明確に示す意味もあるのでは?と勝手ながら思う私です。夢多き子らのように。人生で忘れてはならないのは、『初心』では?。夢に向かっていくその初心です。

迎春花.....まさに、初心忘れるべからず...という言葉の思い起こさせる、そんな花のようにも思えた早春のひとつときでした。〔記 土江和〕

◆ 3月・4月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

3月 2日	陶芸教室[午前9時半~午後3時](担当:安食ひろ・榎野良樹・土江和) ・場所 サリク・昼食 サリク食堂・材料費 全無料・食費 子供のみ無料
9日	陶芸教室[午前9時半~午後3時](担当:安食ひろ・土江和) ・場所 サリク・昼食 サリク食堂・材料費 全無料・食費 子供のみ無料
16日	コンニャク作りすーかぁ?(担当:福田穂・原鞆・土江和) ・場所 アトリエ「おちらと」 ※材料費300円 ・福田姓宅の畑で2~3年育てられたコンニャク芋でね。
23日	山元加津子講演(学園も3年前お招きたね。)・場所 出雲市民会館
30日	お花見&ゴミ拾い (担当:榎野良樹・山口恵子) ・行き先 愛宕山 ・集合場所 旧木佐本陣の下一式飾り常設館の駐車場
4月 13日	陶芸教室[午前9時半~午後3時](担当:安食ひろ・尾原睦子・土江和) ・場所 サリク・昼食 サリク食堂 ※材料費300円 食費 子供無料
20日	ぶらぶら歩きしなからゴミ拾いしよう(担当:榎野良樹・山口恵子) ・行き先 愛宕山 ・集合場所 旧木佐本陣の下一式飾り常設館の駐車場
27日	竹ん子掘りすーか(担当:福田穂・原鞆・尾原睦子・土江和) ・おにぎり・水筒の準備してね ※雑費200円 ・集合場所:アトリエおちらと 行き先:原周弘さん宅(野谷) ・お家にスコップ等がある人は準備してね

# 集合時間 9時30分 b 集合場所 光人塾前又は直接行ってね

《学園の問い合わせ 土江09077745913》 [文責 土江 和世]